

Miscellaneous Notes and Proceedings

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy, メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00056320

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



で認められた差が、生長の初期においても見られた。しかし、地上部／地下部、非同化器官／同化器官の比の値の変化は、親個体の場合とかなり異っており、初期生長時の生活は、親のそれと同様に匍匐茎を伸長させたりはするが、内容は違っているものと思われる。

文 献

- HARA, H. & KUROSAWA, S., 1959. On the *Duchesnea indica* group. Journ. Jap. Bot. 34(6): 161-166.
- HARPER, J. L., 1967. A Darwinian approach to plant ecology. J. Ecol. 55: 247-270.
- HARPER, J. L. & OGDEN, J., 1970. The reproductive strategy of higher plants. I. The concept of strategy with special reference to *Senecio vulgaris* L. J. Ecol. 58: 681-698.
- KAWANO, S., 1975. The productive and reproductive biology of flowering plants. II. The concept of life history strategy in plants. J. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. 8: 51-86.
- 杉本守・鳴橋直弘, 1981. 物質分配からみたヘビイチゴ属2種の生活. 植物地理・分類研究 29(2): 85-90.

Summary

Dry matter partitioning into various component organs of the seedlings and juvenile plants of *Duchesnea chrysanthia* MIQ. and *D. indica* FOCKE, and their early growth curves of plants cultivated under different light conditions were studied and compared with one another.

As a result, *D. chrysanthia* at the early growth stage showed considerably larger growth rate than *D. indica*. *D. chrysanthia* showed greater dry matter partitioning into vegetative reproductive organs, i. e., runners which often produce independent plants than *D. indica*. *D. chrysanthia* was different from *D. indica* in its response to different light conditions, i. e., *D. chrysanthia* showed the most vigorous growth under 100% and 40% in relative light intensities; on the other hand, *D. indica* possessed more shade-tolerance, showing relatively good growth even under 13% in relative light intensity (cf. Fig. 9).

(Received Apr. 3, 1982)

雑 錄 (1)

第29巻会計報告 (昭和56年4月1日～昭和57年3月31日)

収 入 (A)	2,057,866円	支 出 (B)	1,697,550円
会 費	1,749,720	印 刷 費	1,344,400
バックナンバー売上	4,400	通 信 ・ 送 料	135,350
書 籍 売 上	151,350	編集会議費(含旅費)	88,240
別 刷 代	181,390	事務費(消耗品)等	10,045
図 版 代	50,000	発 送 ・ バ イ ト 料	18,500
利 息	43,374	第 1 回大会補助金	97,515
雜	14,804	返 金	3,500
前 年 繰 越 高	-137,172		
差 引 (A-B)	360,316円		

バックナンバーの在庫巻号とその領布価格

下記の巻と号が残っています。これらの中には、わずか数冊というものが多くなりました。次号の補充などは、この際御申込み下さい。会員の方には特に優先して御わけ致します。

V-2 (18), V-4 (20) 以上各号250円; XV-1~3 (57~59) -1,050円; XVI-3 (63), XVI-4 (64) 以上各号350円; XVIII-1 (69), XVIII-2 (70) 以上各号400円; XVIII-3~4 (71~72), XIX-1~2 (73~74) 以上各号700円; XIX-3 (75), XIX-4 (76) 以上各号400円; XX-1 (77), XX-2 (78), XX-3 (79), XX-4 (80), XXI-2 (82), XXII-4 (88), XXIII-1 (89), XXIII-2 (90), XXIII-3 (91), XXIII-4 (92), XXIV-1 (93), XXIV-2 (94), XXIV-3 (95), XXIV-4 (96) 以上各号500円; XXV-1 (97), XXV-2 (98), XXV-3 (99) 以上各号600円; XXV-4 (100) -1800円; XXVI-1 (101), XXVI-2 (102), XXVI-3 (103), XXVI-4 (104) 以上各号600円; XXVII-1 (105), XXVII-2 (106), XXVIII-1 (107), XXVIII-2 (108) 以上各号1200円; XXIX-1 (109), XXIX-2 (110) 以上各号1800円。

御送金は振替口座金沢6-904番 里見信生宛に御願いいたします。

amurensis CHRIST (Aspidiaceae), *Crypsinus hastatus* (THUNB.) COPEL., *Loxogramme graminoides* (BAKER) C. CHR., *Pyrrosia tricuspidata* TAGAWA (Polypodiaceae), *Lycopodium chinense* CHRIST., *Lycopodium cryptomerium* MAXIM. (Lycopodiaceae), *Selaginella helvetica* (L.) LINK, *Selaginella remotifolia* SPRING var. *japonica* (MIQ.) KOIDE. (Selaginellaceae), *Pteridophyllum racemosum* SIEB. et ZUCC. (Papaveraceae), *Draba borealis* DC. (Cruciferae), *Sedum tsugaruense* HARA, *Sedum rosea* (L.)

SCOP. (Crassulaceae), *Saxifraga cherleroides* D. DON var. *rebunshirensis* (ENGLER et IRMSCH.) HARA (Saxifragaceae), *Adoxa moschatellina* L. (Adoxaceae), *Phacelanthus tubiflorus* SIEB. et ZUCC. (Orobanchaceae), *Neottia papilligera* SCHLTR., *Orchis chidori* (MAKINO) SCHLTR. var. *curtipes* (OHWI) OHWI, *Orchis graminifolia* (REICHB. fil.) TANG et WANG and *Tipularia japonica* MATSUM. (Orchidaceae).

(Received Dec. 2, 1981)

雑 錄 (2)

住所変更および訂正 (昭和56年12月～昭和57年5月)

- 安溪 貴子 〒903 那覇市首里赤平町2-66→〒753 山口市湯田温泉6の29の403 (中国)
 浜島 繁隆 〒458 名古屋市緑区鳴海町枯木40→〒458 名古屋市緑区浦里2丁目168 (中部)
 本淨 高治 〒921 金沢市平和町1-4-26→〒921 金沢市平和町3-18-15 (中部)
 細井幸兵衛 〒030 青森市新城平岡252の90→〒030 青森市新田字扇田167の4 (東北)
 池田 豪憲 〒895-25 大口市里2670大口高等学校→〒891-21 垂水市田神97 (九州)
 池原 直樹 〒904-11 石川市字伊波328の2→〒904-21 沖縄市字大里481 (沖縄)
 伊藤 信郎 〒780 高知市城北町101→〒108 東京都港区白金台5-20-4-405 (関東)
 鹿児島大学附属図書館—鹿児島大学附属図書館閲覧課雑誌係 (九州)
 小林 純子 〒248 鎌倉市雪の下4-2-23→〒248 鎌倉市雪の下3-9-24黒川ビル202 (関東)
 久保 信一 〒920 金沢市出雲町8街区10→〒920 金沢市出雲町1398 (中部)
 桑原 道衛 〒502 岐阜市粟野東2丁目131→〒502 岐阜市粟野東2の149 (中部)
 松村 敏則 〒731-02 広島市可部町上原754→〒731-02 広島市安佐北区可部町上原754 (中国)
 元吉 健一 〒120 東京都足立区千住4の57→〒120 東京都足立区千住4の10の19 (関東)
 中村 弘樹 〒730 広島市東千田町1の1の89広島大学理学部植物学教室→〒852 長崎市家野町24の27 (九州)
 西村 直樹 〒730 広島市東千田町1の1の89広島大学理学部植物学教室 〒717-05 岡山県真庭郡八束村中福田145の1 (中国)
 萩巣 樹徳 〒533 大阪市東淀川区豊里6丁目28の9の307→〒168 東京都杉並区上高井戸1の30の43松本様方 (関東)
 大場 秀章 〒321-14 日光市花石町1842東京大学理学部附属植物園日光分園→〒277 柏市根戸427の5北柏第2住宅2の203 (関東)
 田崎はるえ 〒311-14 茨城県鹿島郡旭村田崎1104→茂垣はるえ 〒311-41 水戸市大塙町1863-90 (関東)
 鈴木 善雄 〒135 東京都江東区常盤1の5の10→〒273 船橋市金杉5の3の12 (関東)
 小路 登一 〒939-06 富山県入善町上野10344→〒939-06 富山県入善町上野352 (中部)
 田丸 豊生 〒731-02 広島市安佐北区可部町城386-5→〒731-02 広島市安佐北区可部町下町屋915-63 (中国)
 田中 啓幾 〒487 春日井市白山町1859の11タウン石尾台16の1→〒487 春日井市石尾台1-1タウン石尾台16の1 (中部)
 矢原 徹一 〒606 京都市左京区鹿ヶ谷法然院町13山本武雄方→〒280 千葉市弥生町1-170東大西千葉職員宿舎3-201 (関東)
 山田 久雄 〒946 新潟県北魚沼郡小出町県立小出高等学校→〒940-24 新潟県三島郡与板町長丁 (中部)

新 入 会 員

- | | | | |
|-------------|-------|---------|----------------------------------|
| 昭和56年12月 1日 | 安原 清隆 | 〒719-03 | 岡山県浅口郡里庄町2267 (中国) |
| 昭和57年 1月 4日 | 藤澤 浅 | 〒710 | 倉敷市中央 2 丁目20の 1 岡山大学農業生物研究所 (中国) |
| 1月26日 | 武田 清明 | 〒920 | 金沢市小将町7-32 (中部) |
| 2月13日 | 宮本 太 | 〒156 | 東京都世田谷区桜ヶ丘 3-29-14 権田方 (関東) |
| 2月18日 (再入会) | 岩井 昭夫 | 〒427 | 島田市三ツ合町1128の12 (中部) |
| 4月 2日 | 寺林 進 | 〒606 | 京都市左京区北白川追分町京都大学理学部植物学教室 (近畿) |

4月3日	星谷 誠子	〒930	富山市五福富山大学教養部生物学教室（中部）
4月13日	路川 宗夫	〒305	茨城県新治郡桜村並木4丁目912-102（関東）
5月1日	南木 瞳彦	〒558	大阪市住吉区杉本3の3の138大阪市立大学理学部生物学教室（近畿）
5月12日	太田 道人	〒920	金沢市丸の内1の1金沢大学理学部生物学教室（中部）

退会会員

昭和56年12月26日	稻垣 貫一	〒222	横浜市港北区大曽根町1071（関東）
昭和57年1月4日	尾立 正人	〒782	高知県香美郡土佐山田町宮ノ口（四国）
2月13日	燎原書店	〒101	東京都千代田区神田神保町1の16（関東）
3月20日	近 弥二郎	〒920	金沢市横安江町（中部）
3月20日	桜井 保光	〒154	東京都世田谷区太子堂5の10の8（関東）
3月20日	田中 秀子	〒078-17	北海道上川郡上川町層雲峽温泉ホテル大雪内（北海道）
3月28日	信州大学教育 学部図書館	〒380	長野市西長野町6（中部）
4月1日	外山 三郎	〒852	長崎市家野町23-22（九州）
4月3日	須藤 孝久	〒010-14	秋田市仁井田秋田県農業試験場（東北）
4月7日	南 敦	〒743	光市光井金山団地（中国）
5月29日	大竹 岩男	〒904	沖縄市上地155伊礼アパート1F（沖縄）

万国著作権条約上の保護を受けるための措置

- 1 会誌「植物地理・分類研究」は、わが国が「文学的及美術的著作物保護ニ関スル『ベルヌ』条約」の同盟国であるため、同条約同盟国との関係では、いわゆる無方式主義により著作権法上の保護があたえられる立場にあります。
 - 2 しかししながら、アメリカ合衆国など同条約の非同盟国との関係では、この保護はあたえられません。また、アメリカ合衆国の著作権法は著作権の保護を受けるために登録などを必要とする、いわゆる方式主義をとっています。ただし、日本など万国著作権条約締約国との関係では、同条約第3条の定める様式で著作権表示がおこなわれている場合には、外国著作者の発行書籍の著作権保護の要件が満たされることになります。
 - 3 最近、「植物地理・分類研究」の複製などに関連して問題がでてきましたので「植物学雑誌」などの例にならって、この表示をおこなうことといたしました。
 - 4 なお、この措置は從来からの「植物地理・分類研究」の編集、発行者と投稿者の法的関係（別記参照）に影響をあたえることを目的とするものではありません。
 - 5 表示の様式は下記の通りとし、定期刊行物及び編集著作物としての著作権が留保されていることを表示するのに適当な方法で、かつ、適当な場所に掲げるものとします。
- 記：© The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy 198X.
- 6 表示は、「植物地理・分類研究」第30巻各号より実施します。

別記

- 「植物地理・分類研究」の編集者、発行者と投稿者の間の法的関係について
- 上記の件については今まで明文化されたものはありませんでした。しかしながら、当事者間の良き慣行として形成されてきているものをまとめると、次の通りとなりますので、編集委員会としては、今後ともこの解釈にしたがっていきたいと考えます。
- ア. 「植物地理・分類研究」の投稿者は掲載された著作物については、その著作物についての著作権を有する。
- イ. 編集者としての植物地理・分類研究会は、編集著作物としての会誌各号の全体の上に著作権法第12条第1項にさだめる著作権を有する。
- ウ. 会誌の発行者としての植物地理・分類研究会は、投稿者との間に原稿の正式受理をもって、いわゆる条件付出版許諾契約を締結し、その履行に着手したものとみなす。
- エ. 法律で認められた場合を除き、何人かが会誌各号の全部又は一部を複写・複製する場合は、植物地理・分類研究会の許諾を求めなければならない。(1982年6月15日)

植物地理・分類研究会編集委員会